

微生物学Ⅱ Microbiology II

1 単位 (必修) 2 年

小野 恒子・教授 / 保健学科 検査技術科学専攻 形態系検査学講座

【授業目的】 微生物と宿主との関係および感染症発症のメカニズムを理解し、その予防と治療に関するその知識を習得する。

【授業概要】 微生物の病原性、感染と発病、化学療法など微生物とヒトとの関わりおよび化学療法のメカニズムと薬剤耐性について教授する。

【到達目標】 病原微生物の病原性発現機構と化学療法薬の作用機序・薬剤耐性機構を理解する。

【授業計画】

1. 感染 1 宿主寄生体関係、宿主側諸要因
2. 感染 2 宿主寄生体関係 寄生体側諸要因 (病原因子)
3. 消毒・滅菌
4. 化学療法 1 選択毒性および化学療法薬の種類と作用機序
5. 化学療法 2 薬剤耐性 (1)
6. 化学療法 2 薬剤耐性 (2)
7. ワクチン

【教科書】

- ◇ 臨床検査学講座 微生物学/臨床微生物学 第2版 医歯薬出版
- ◇ 臨床検査技術学 12 微生物学・臨床微生物学第2版 医学書院

【参考書】

- ◇ メディカルサイエンス 微生物検査学 近代出版
- ◇ スタンダード微生物学 第2版 文光堂

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=217750>

【連絡先】

⇒ 小野 (088-633-9061, ono@medsci.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: 毎週水曜日16:00~18:00)